

平成30年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

テーマ：ふれ合い・鍛え合い・学び合い・認め合い

佐世保市立天神小学校

〒857-1174

佐世保市天神一丁目11番13号

校長 蒲川 法子

児童数 363名（15学級）
（H30.5.1現在）



1 目的

本校のめざす学校教育目標である「思いやりのある子」、「進んで学ぶ子」、「明るく、たくましい子」の達成を図るとともに、「豊かな心と確かな学力を持ち、たくましく未来を切り拓いて生き抜く児童」の育成を目指す。そのために、次の観点から特色ある学校づくりとしての教育活動を進める。

- (1) 縦割り活動等の異学年交流や異校種、地域の人々との交流を深める体験活動の場や設定を工夫することで、「かかわる力」を高めていくとともに他人を思いやる心、美しいものに素直に感動する心、命を尊重する心など豊かな心を育てる。
- (2) 基礎・基本の確かな定着を図るという観点から、学習規律の徹底、習熟度別指導やティームティーチングによる個に応じた指導の工夫、繰り返し学習による基礎基本の学力の定着、読書活動の推進、朗読・音読による表現力の向上に着目した学習活動を進めるとともに、書く活動と学び合い、評価問題を取り入れた授業改善に取り組む。
- (3) 平和、環境、食育、生き方などのテーマのもと、地域の素材を掘り起こし「ひと」「もの」「こと」への多様なかかわりなど地域の教育力を活用しながら、主体的に課題を解決していく学習を通して、実際の社会や日常生活の中で活用できる能力を高める。

2 実践内容（主な取組）

(1) 「かかわる力」を育てる活動

① 天神っ子スマイル集会（全学年・11月・各教室等）

本校では、天神小学校を全校仲良く、よりよい学校にするため「スマイル天神」のテーマのもと児童会が中心となり「天神っ子スマイル集会」を計画した。11月16日（金）に実施した集会では、4・5・6年生が各学級ごとに学習内容を加味した体験コーナーを運営し、1・



【スマイル集会】
2・3年生が各コーナーをまわって体験活動を行った。学年・学級の枠を越えて、児童が相互に楽しく交流することができた。また、地域の方（学校支援会議のメンバー）や近隣の保育・幼稚園児を招待し、地域の方は3年生が、園児は2年生が案内し、共に体験したことで交流を深めることができた。保護者の参加も多数あり、児童は活動を通して充実感を得ることができた。参加された方々からの笑顔も多く

見られ、特に地域の方からは「よい行事で、来年度も楽しみにしている。」等の感想を学校支援会議の中でいただいた。

② 天神幼稚園との交流（1年生・年間・天神幼稚園や天神小学校）

生活科の学習の中で年3回天神幼稚園との交流を行っている。天神幼稚園に出かけたり、小学校へ招いたりしながら交流を深めた。12月4日（火）に行った2回目の交流では、園児を本校へ招き「冬フェスタ」を行った。この行事に向けて、児童は、10月16日（火）に天神公園と東公園に行った校外学習で集めてきた落ち葉や木の実を用いておもちゃや飾り作りなどに意欲的に取り組んだ。実際の活動では、ペアの園児の案内や係の仕事など責任を持つて行うことができた。【冬フェスタ】



また、日頃は上級生の世話になっている児童だが、ペアの園児を気遣い、年長者としての自覚や思いやりのある行動が見られた。今後も、いろいろな機会をとらえて交流の場をつくり、保幼小連携の取組を更に発展させていきたい。

(2) 基礎・基本の定着と学力向上を図るための取組

① 本校では、基礎・基本の更なる定着を図るために朝の時間帯（15分）を活用して以下のような取組を行っている。

㊦ 読書タイム（全学年・年間・各教室や図書館）

週2回（月・金）の8時30分から8時45分までの15分間、全校一斉に読書の時間を設定し、自由読書や担任による読み聞かせを行い、読書の習慣化を図っている。これは、「読書の習慣化」と「落ち着いた学校生活のスタート」をねらって行うものである。この時間を通して、静寂の中で集中して読書をする児童の姿が見られるようになった。また、自分が選んだ1冊の本に向き合っ集中する静かな時間を設定することで学級経営の基盤にもつながっている。

① 算数タイム・国語タイム（全学年・年間・各教室や少人数教室）

「確かな学力」の向上と学習内容の習熟を図る目的で、算数タイムを毎週水曜日朝の時間に設定している。基本的に、計算力向上を最優先に取り組んでいる。木曜日の朝の時間に設定している国語タイムでは主述の関係習熟を最優先に取り組んでいる。

㊧ 学年発表会（全学年・年間・体育館）

音読や発表の仕方を身に付けさせ、豊かな情操や表現力を養い、自己表現ができる児童の育成を目的として年間に各学年1回の学年発表会の時間を朝の時間に設定している。この時間は主に表現力の向上をねらい、各学年の学習成果を発表する場として設け、意欲を持たせると共に取組の振り返りを行っている。保護者の参観もある中で堂々と発表でき、よい発表の機会となっている。



【6年生の発表】

② 校内研修の充実（全学年・年間・各教室）

本校では、「めあて・まとめ・確かめ（評価問題）を貫いた授業づくり」～書く活動と学び合いのある算数科学習を通して～の研究テーマを設定し、研究授業を中心として研究を推進してきた。平成28年度から、指導過程の終末に児童が確かに理解や技能向上ができたか振り返りの評価活動を位置づけた授業改善を図り、実践してきた。今年度は、ワークショップ形式の授業研究会を取り入れ、研修を深めることができた。



【学び合いの授業】

③ 読書活動の推進と図書室環境整備（全学年・年間・各教室や図書館）

児童の言語能力の向上をめざし読書活動の推進を行っている。その読書活動を支える基盤づくりとして、担当職員や保護者ボランティアによる図書室の整備を行った。また、様々な学習活動で活用できる学習情報センターの機能を整えるために、図書管理システムや地域資料の整備など教科の学習や調べ学習を支える基盤づくりをさらに進め児童の学力向上を目指してきた。今年度は市立図書館と連携し事典の使い方やブックトークの取り組みも行った。また、学校司書による読み聞かせや「親子10分間読書」の年2回の取組による家庭の協力や「児童読書100選」の資料の活用等もあり、読書に親しむ児童は今年度も多くいた。図書委員会による読書集会を開催し、児童の本への興味関心を高めている。2月26日現在の全校での図書の貸し出し冊数は36,000冊を超えており大幅に増えている状況である。



【読書集会】

(3) 活用する力を育てる体験活動

① 昔遊び（1年）

1月23日（水）には、西天神公民館のご協力をいただき、昔遊びを通して交流を行った。非常に寒い日であったが、30名近い老人会の皆さんに来ていただき、体育館では、お手玉、はねつき、けんだま、竹とんぼを、また、運動場では、たこ揚げや独楽回しを教えていただいた。児童は高齢者の皆さんの巧みな技術に感心しながら、自分もやってみたくて進んで活動に参加していた。昔遊びの活動の後には、活動中の写真とともに、児童の感想を添付した模造紙を届け、地域の皆さんも感激されていた。



【昔遊び】

② 町たんけん（2年生・6月と11月・校外）

自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所とかかわっていることを知るために、保護者の協力の下で校外に出かけ、グループで校区内の探検を行った。また、この活動を夏と秋の2回行うことで、地域の人々とさらにかかわりを深めたり、人々やお店、自然の様子が変わったか、また変わらないものがあることなどに気づくこともできた。気づいた町の良さを伝えあったり、自分なりに【佐世保駅見学】工夫してまとめたりすることができた。



【佐世保駅見学】

この活動から、さらに視野を広げ、校区外の「市立図書館」「佐世保駅」などの公共施設へも出かけることで、今後の利用への意欲も高まった。

③ 地域の自慢を見つけよう（3年生・年間・校区内）

総合的な学習の時間に、フィールドワークを行い、地域の自然・文化・歴史について学習した。9月18日（火）には、海軍墓地、天神洞穴、菅原神社、馬頭神社を回り、地域に残る歴史と文化について学習を深めることができた。この学習を通して、地域についての新たな発見や自分たちの町のよさに気づき、自分の町への愛着を深めることができた。



【佐世保独楽本舗見学】

④ 天神山の自然を知ろう（４年生・年間・天神山）

地域の環境に目を向けさせ、野草から昆虫、野鳥、動物などについて課題を持ち、自ら調べ、追求する活動を行った。まず、天神山のフィールドワークにより地域の環境に目を向けさせ、季節ごとに身近な生物を観察・調査していく計画を行った。さらに、地域の人材を講師として招聘し、積み木を使ったワークショップや天神山の森の中に実際に



【木育】

入って活動することにより、身近な自然を体感し、一人ひとりの課題を広げていくこともできた。また、この学習を通して、親しんできた天神山公園の魅力を再発見することができ、天神山公園のすばらしさを周りの人に伝えるとともに自然環境や地域の歴史にも関心を持つことができた。

⑤ 平和学習（５年生・年間・校区内・長崎市）

今年度から中心テーマを平和学習とし、佐世保空襲の学習から長崎原爆の学習へと進め、宿泊体験学習に行く前に長崎の原爆資料館を見学し、学習を深めた。自分の住んでいる町が空襲にあったことや、そこから今の平和な世の中が続いていることなどを、学習し考えを深めることができた。また、地域学習として、東浜地区の婦人会の皆さんを講師として招き、押し寿司作りの体験を行うことで、地域の良さを感じさせるとともに「食」や「郷土食」に関する興味・関心を高めることもできた。



【長崎原爆資料館見学】

⑥ 生き方を考えよう（６年生・年間・校区内）

6月19日（火）に介護施設から講師を招き、介護を必要とされる方がどのような状態で生活されているのか、装具やおもりを付けた状態で歩行したり、車いすに乗ったりして疑似体験を行った。その後、7月には地域の介護施設を訪ね、施設にいる人たちやそこで働く人たちとのふれ合いを通して、他者の立場を思いやり、互いに支え合う心を大切にし、自分たちでできることなどについて学習を行った。また、12月7日（金）に、人権集会で講師として招いた堤 龍平さんとの交流会を行った。電動車いすを利用し、サポートを受けながら一人で自立した生活をされている堤さんの生き方を学び、自分の今後の生き方について考えを深めることができた。また、これらの活動を通して、児童たちは、自分の将来について考えを深めることができた。



【高齢者疑似体験】